

株主・投資家の皆様へ
株主通信

2011年3月期通期のご報告
2010年4月1日～2011年3月31日

TEMP REPORT

TEMP HOLDINGS

テンポホールディングス株式会社
(証券コード:2181)

ニッポンの 明日のために。 人と仕事を 結び続けます。

2011年3月期通期
連結業績ハイライト

- 売上高 2,252億円 前期比 0.3%増
- 経常利益 62億円 前期比 7.5%減
- 当期純利益 24億円 前期比 18.3%減
- 一株当たり期末配当金 6円

このたびの東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心より祈念いたします。

テンプグループにおいては、震災による業績への影響は幸いにも一時的・限定的といえます。ただし、震災被害や計画停電の影響により、顧客企業の臨時休業や派遣スタッフの有給休暇取得、プロジェクトの延期などが相次いだほか、被害の大きかった一部のフランチャイジーに対しては金銭的支援を行っています。

こうした状況のなか、今期の連結決算は売上高2,252億円、経常利益62億円となりました。

新たな1ページを開いた
2011年3月期。

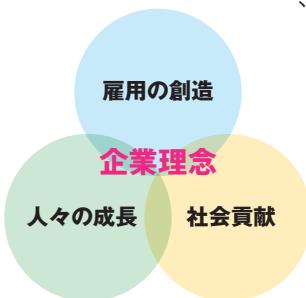
激変する市場ニーズに対応すべく、テンプグループでは新たなサービスメニューの拡充に取り組んでいます。その一翼を担うアウトソーシング事業について、今期は事業基盤が格段に強化されました。一貫した戦略のもとM&Aを展開し、ハウコムと東洋ソフトウェアエンジニアリングを子会社化。両社とグループ各社の連携により、

ITソリューションニーズにワンストップで応えられる体制を整備しました。そしてもう一つの翼となるのがグローバル展開です。今期は、世界有数の人材サービス会社・ケリーサービスとの戦略的提携を開始するなど積極的に展開。海外のグループ各社が軒並み好業績を収めています。

あらためて痛感する、
私たちの使命。

今、多くの人々が、震災により、生活に欠かせないさまざまなものを失っています。「仕事」も、その一つです。被災地で、そして一時移住先で、仕事を求める方のために、「テンプグループ はたらこう! 復興プロジェクト(※)」を立ち上げました。今後、就業機会の提供を通じて、皆様を全力で支援していきます。

私たちは復興のためにできること。それは、人と仕事を結ぶことです。雇用の創造を通じて、人々の成長を支援し、社会に貢献する。この企業理念を胸に、今後も社会的使命を遂行してまいります。



テンプホールディングス 中期経営戦略

地域戦略の強化

各地域事業会社が、地域に根ざしたきめ細かいサービスを提供。各地域におけるシェア拡大を推進します。

専門分野および新たな職種領域への積極展開

高度化、多様化するニーズに対し、新たな職種領域の拡大とともにサービス、ネットワークの拡充を図ります。

グローバル市場への積極展開

アジアを中心としたグローバルネットワークへ資源を集中し、基盤確立と積極展開を図ります。

女性の就業支援

子育てママの就職支援やセミナー・カウンセリングなど、少子高齢化による労働力不足解消のカギを握る女性の就業を全面的に支援します。

経営効率の向上

ホールディングス体制による効率化をはじめ、徹底的なコスト削減を実践。堅実な利益成長と健全な財務体質を堅持します。



代表取締役会長兼社長 篠原 欣子
1973年テンプスタッフ設立。2000年より米国・FORTUNE誌「最強の女性50人・国際版」に11年連続ランクイン。2011年3月にはオーストラリア「ADVANCE WOMEN'S LEADERSHIP SUMMIT」に、活躍が期待される女性50人の1人として招かれた。

(※)テンプグループ はたらこう!復興プロジェクト…

被災地域の求人獲得、仕事紹介&登録会の開催、対面ジョブカウンセリングの実施、無料OA自主トレーニングの利用などを通じ、被災者の皆様の就業につながる支援を実施しています。

事業セグメント紹介

実践主義で、一歩前へ。

長い景気の低迷を脱し、経済の回復が緩やかに進むなか、企業は、より高効率な外部人材活用のあり方を求めています。一方で、厚生労働省「専門26業務派遣適正化プラン」など、派遣法の解釈・適用の厳格化が進んでいます。こうした環境変化をチャンスに変えるために、テンプグループは4セグメントを軸に事業を展開。サービスメニューの拡大を果たすべく、着々と取り組みを進め、その成果が実りはじめられています。

※2011年3月期から、マネジメントアプローチによるセグメント情報の開示のため、セグメント構成を変更しております。
2010年3月期はセグメント構成変更後の数字となります。



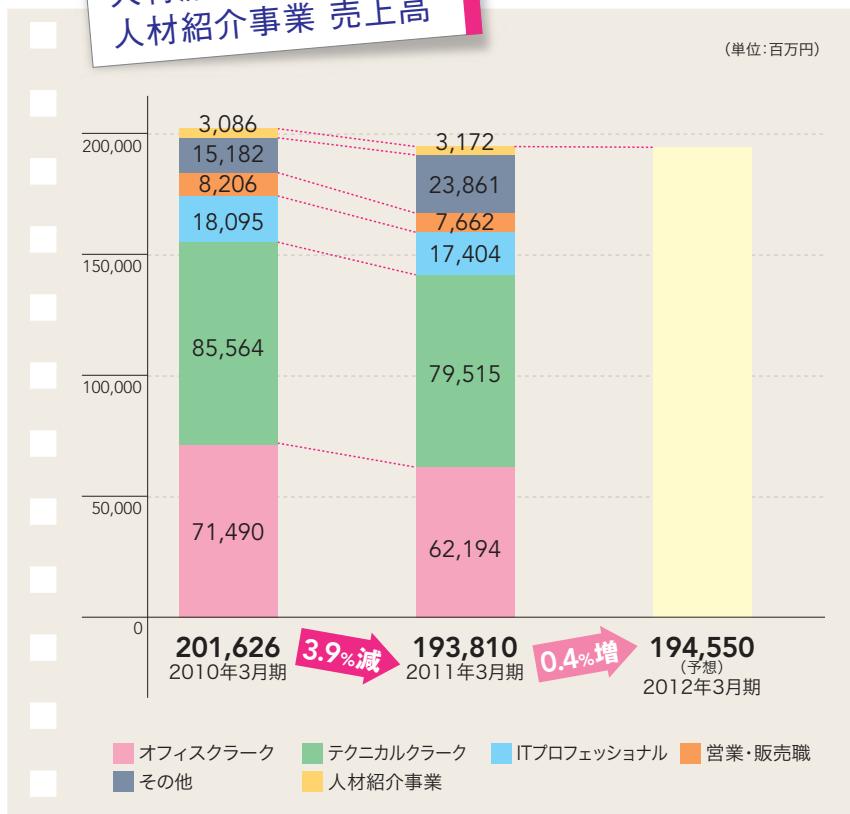
Action!



信頼を
追い風に。

専門26業務派遣適正化プランを受け、テンプグループではすべての取引案件を対象に業務の妥当性について総チェックを実施しました。労働局からも、適正であるという確認をいただいています。私たちは、これまでもコンプライアンス最重視の姿勢を貫くことで、企業からの「信頼」を得て、チャンスを広げました。今期も、こうした「信頼」が評価されて、複数企業からの事業譲受が実現しています。また、中小規模の顧客開拓にも注力し、顧客層の拡大に努めるなど、第3四半期までは緩やかな回復基調にありました。しかし3月に、震災による計画停電・採用活動の中断などの影響を受け、当セグメントの売上高は1938億円となりました。

人材派遣、人材紹介事業 売上高



グローバル展開

アジアで勝てる力が備わってきた。

アジア市場の存在感が一段と増す今、早くからアジアの各国にネットワークを構築してきたことが、強みとして表れてきています。各拠点が連携を深化させ、市場動向などの情報をスピーディーに共有。国の垣根を超えた採用活動の支援も行うなど、営業活動を優位に進めています。アジアにおける競争力をさらに高めていくために、2010年5月には世界有数の人材サービス会社・ケリーサービスとの戦略的提携をスタート。サービスエリアの拡大、人材供給力の強化、営業機会の拡大が期待されています。

オーストラリア・女性サミットにて篠原がスピーチを行いました。

篠原にとってオーストラリアは、人材派遣ビジネスと出会い、会社設立のきっかけとなったルーツともいえる場所。サミットを締めくくるパーティにて自身の起業経験やダイバーシティ経営についてなどを語りました。



2011年3月 女性サミットにて

セグメント②

R&Dアウトソーシング事業

R&Dアウトソーシング事業 売上高



※2009年11月より連結子会社化のため、2010年3月期の実績は第4四半期のみ。

一転。攻めの時代へ。

専門分野に特化したR&Dアウトソーシング事業を担う日本テックシードの2011年3月期の売上高は、通期では前期並みの88億円でしたが、設計開発の需要回復は堅調で、特定派遣の収益性を表す指標である稼働率は、リーマンショック以前の水準まで回復しました。2012年3月期は、テックシードグループ内の事業再編の一環で今年5月に子会社を売却したため、売上高は伸びないものの、収益性は高まる見込みです。また、今年の8月に予定している完全子会社化によって、テンプグループの専門領域各社との一体感ある事業運営を推進し、技術分野における競争力と存在感を高めていきます。

セグメント③

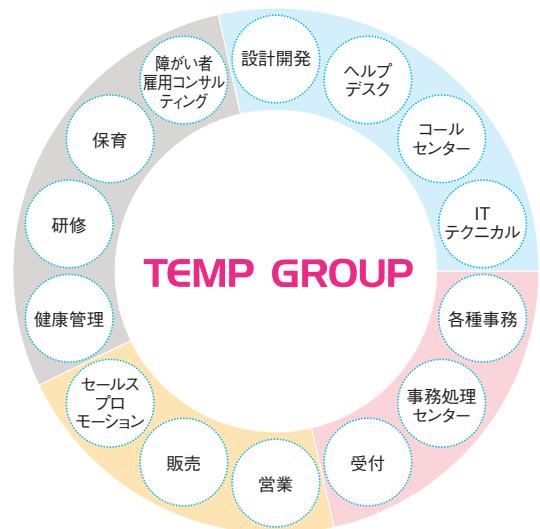
アウトソーシング事業

躍進をはじめた次代のチカラ。

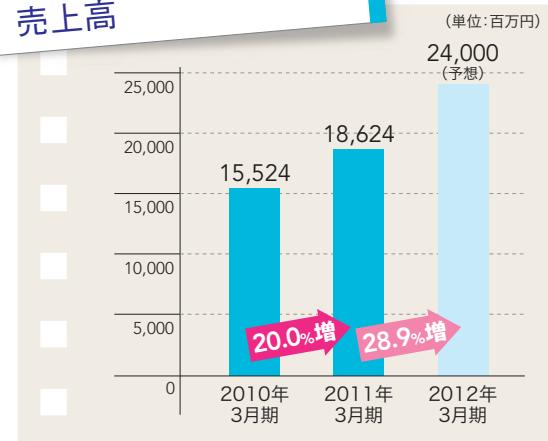
前期より推進してきたアウトソーシング事業の基盤づくりが、着実に実を結びつつあります。人材派遣からアウトソーシングへのシフトが進み、中長期案件の獲得も増えた結果、大きく業績を伸ばし、売上高は前期比20%増・186億円となりました。またM&Aを積極的に展開し、2010年5月にヘルプデスク業務の企画・運営を手がけるハウコムを、2011年1月にはソフトウェア受託開発

に豊富な実績を持つ東洋ソフトウェアエンジニアリングを相次いで子会社化。今後、セグメントの枠を超えて、R&Dアウトソーシング事業と組みあわせることで、グループで提供できるサービスの裾野を拡大していきます。また、今年10月には、宮崎県にコールセンターを新設し、コールセンター事業も強化します。今後、積極的な営業展開により、事業拡大を目指していきます。

●テンプグループのアウトソーシングサービス



アウトソーシング事業 売上高



セグメント④

その他の事業

その他の事業 売上高



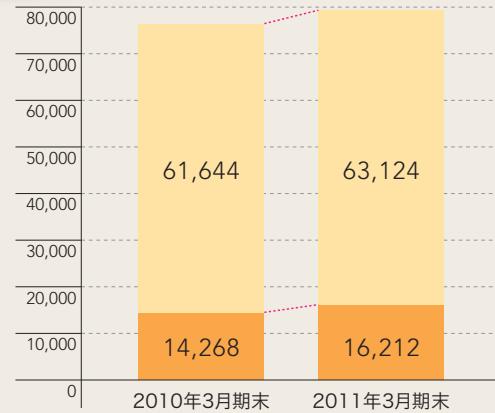
体制再編。
変化を讀んだ采配。

不況時に活況を呈してきた再就職支援事業は、企業の業績回復とともに需要が一段落しています。しかし一方で、企業に早期退職制度の常設化の動きがみられるなど、再就職支援ニーズは多様化に向かいつつあります。今年2月には、再就職支援事業をカバーするテンプスタッフ転身サポートと日本ドレック・チーム・モリンが合併。新たにテンプスタッフ・ドレック・チーム・モリンとしてスタートしました。経営の効率化を図りつつ両社のノウハウを集中することで、競争力を高めていきます。

連結決算の概況

資産の部

(単位:百万円)
■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産の部

(単位:百万円)
■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



POINT 1

2010年5月にハウコム、2011年1月に東洋ソフトウェアエンジニアリングがグループに加わりました。これにより、アウトソーシング事業のサービスラインナップが拡充され、グループ間の連携を通じ、サービスレベルも高まっています。当社の企業価値および顧客満足度の向上に結びつくM&Aに関しては、今後も積極的に推進してまいります。

POINT 2

2010年5月、世界有数の人材サービス会社・ケリーサービスの株式を4.8%取得し、9月にはグローバルセールス&マーケティング契約を締結。海外において豊富なインフラ、ノウハウを持つケリーサービスと、アジアを中心に事業基盤の確立を図ってきた当社との営業協力体制がスタートしています。今後も協力関係を通じ、中期経営戦略の一つである「グローバル市場への積極展開」を強力に推進していきます。

貸借対照表

(単位:百万円)

	2010年3月期末	2011年3月期末	増減額
資産	75,912	79,336	3,423
流動資産	61,644	63,124	1,479
現金及び預金	28,545	31,448	2,902
固定資産	14,268	16,212	1,943
投資有価証券	1,839	4,589	2,749
負債	27,595	29,015	1,420
流動負債	20,094	21,224	1,130
固定負債	7,500	7,791	290
純資産	48,317	50,320	2,003
株主資本	45,778	47,495	1,716
自己株式	△5,636	△5,636	—
少数株主持分	2,492	2,528	36

一株当たり配当金

(単位:円)



2011年3月期は、当初の予定通り、中間配当金として一株当たり6円の配当を実施し、期末配当金は一株当たり6円といたしました。2012年3月期は、同様に、中間配当金一株当たり6円、期末配当金一株当たり6円の合計一株当たり年間12円を予定しています。

当期純利益

(単位:百万円)



資産除去債務の会計基準の適用により、特別損失として569百万円が計上されたことなどにより、当期純利益は前期比18.3%減となりました。

経常利益

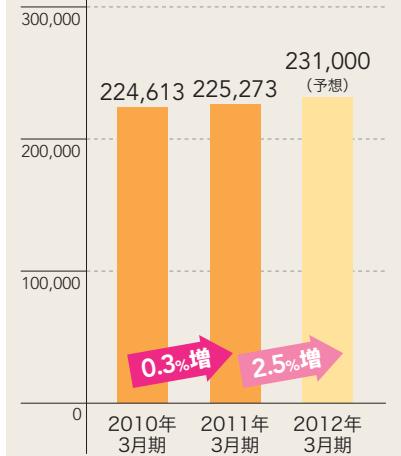
(単位:百万円)



グループ会社の統合による拠点配置の見直しや募集広告費の継続的削減などコストコントロールに努め、第3四半期までは増益の実績となりました。震災に伴う利益の減少により、経常利益は通期で前期比7.5%減となりました。

売上高

(単位:百万円)



東日本大震災による影響から、第4四半期は、取引先企業の休業によるスタッフの有給休暇が増加し減収となりましたが、第3四半期まで順調に回復基調で推移し、通期売上高は前期比0.3%の増収となりました。

【ご参考】

テンプグループでは、2011年3月期より「包括利益の表示に関する会計基準」を適用しております。「包括利益」とは、資産と負債を時価評価して、その損益を当期純利益に加えたものです。

包括利益

	2010年3月期	2011年3月期
包括利益	3,076百万円	2,825百万円



インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。

テンプホールディングス ホームページ ▶ <http://www.temp-holdings.co.jp>

幸せな社会のために。

テンプグループは、人材ビジネスを通じて、CSR（企業の社会的責任）を実践する一方で、さまざまな社会貢献活動に取り組み、一人ひとりが幸せな世の中の実現を目指していきます。

人々の成長のために

海外留学を支援しています。

学生や社会人のための海外留学奨学生制度を長年にわたり実施しています。今後もグローバルに活躍できる人材の育成を、サポートしていきます。

2010年 10月 社会人のための短期留学「第20回テンプグループ・ワールドワイド・スカラシップ」募集。

2011年 3月 18歳以上の学生のための「第21回テンプグループ・ユース・インターナショナル・スカラシップ」募集。

障がい者のために

障がい者アスリートを支援しています。

障がいのある社員のスポーツ活動を就業面と資金面の両面からサポートしています。今期はサンクステンプに所属する2人のアスリートが活躍しました。

●初瀬勇輔選手（柔道・視覚障がい）

2010年 12月 広州2010アジアパラ競技大会で金メダルを獲得。

2011年 3月 佐世保市文化スポーツ特別賞を4年連続受賞。

●木村雄哉選手（陸上・知的障がい）

2010年 8月 ジャパンパラリンピック陸上競技大会（1,500m）で大会新記録、2位に入賞。



木村雄哉選手

初瀬勇輔選手

女性のために

女性の健康に貢献しています。

テンプグループは、女性が生き生きと働ける社会の実現を目指して、がん検診の啓発活動などに積極的に取り組んでいます。

2010年 8月 さまざまな取り組みが評価され「東京都がん検診推進サポーター」に認定。



2010年 9月 ピンクリボンキャンペーンの一環として「乳がん触診模型体験キャラバン」を実施。

未来のために

社会とのふれ合いを増やしています。

テンプグループでは、保育・福祉分野において地域との連携やユニークな社会貢献活動に取り組んでいます。

2011年 2月 サンクステンプの障がい者雇用施設「よこはま夢工房」にて、地域園児のクッキー作りお仕事体験を実施。

2011年 2月 東京都渋谷区にて保育園児・保護者・地域住民参加による「テンプスタッフこどもフェスタ」開催。



インフォメーション

会社概要 (2011年3月31日現在)

会社名 テンプホールディングス株式会社
 Temp Holdings Co., Ltd.
 設立 2008年(平成20年)10月1日
 本社 東京都渋谷区代々木2-1-1
 事業内容 労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付随する業務
 資本金 2,000百万円

役員一覧 (2011年6月23日現在)

代表取締役会長兼社長 篠原 欣子
 取締役副社長 日比野 三吉彦
 取締役副社長 水田 正道
 常務取締役 佐分 紀夫
 取締役 和田 孝雄
 取締役 森本 一臣
 取締役 Carl T. Camden
 常勤監査役 平賀 稜威喜
 監査役 島田 晴雄
 監査役 荒井 薫
 監査役 たまこし 良介

株式の状況 (2011年3月31日現在)

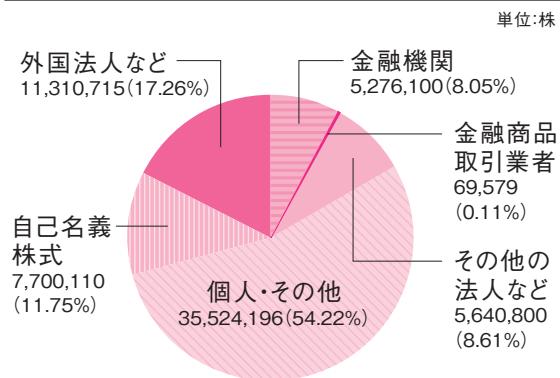
●発行可能株式総数 240,000,000株
 ●発行済株式の総数 65,521,500株
 ●株主数 9,227名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原欣子	23,377,200	40.43
ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー	5,692,100	9.84
ケリーサービスジャパン 株式会社	3,000,000	5.18
彌富よしみ	1,812,800	3.13
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,760,000	3.04
日興コーディアル証券 投資事業組合	1,300,000	2.24
テンプホールディングス 従業員持株会	1,263,500	2.18
ウーマンスタッフ有限会社	1,206,000	2.08
山本なな子	1,108,800	1.91
彌富太郎	1,108,800	1.91

※持株比率は、発行済株式総数から自己名義株式を除いた株式数(57,821,390株)を基準に算出しております。

株式所有者別分布状況 (2011年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料) URL http://www.tr.mufg.jp/daikou/	
	上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)	
	公告方法 電子公告 公告掲載URL http://www.temp-holdings.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	

株式に関するお手続きについて

■ 証券会社などの口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先	
<input type="radio"/> 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 <input type="radio"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="radio"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<input type="radio"/> 上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社などにお問合せください。	

■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先	
<input type="radio"/> 特別口座から一般口座への振替請求 <input type="radio"/> 住所・氏名などのご変更 <input type="radio"/> 特別口座の残高照会 <input type="radio"/> 配当金の受領方法の指定(*)	特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<input type="radio"/> 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 <input type="radio"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="radio"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	<div style="text-align: center;">[手続き書類のご請求方法]</div> <input type="radio"/> 音声自動応答電話によるご請求 ▶ 0120-244-479 (通話料無料) <input type="radio"/> インターネットによるダウンロード ▶ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

テンポホールディングス株式会社

東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインスタワー TEL 03-3375-2220(代表) ※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



この印刷物は環境に配慮し、「FSC™認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。